

2024年  
新6年志望校別特訓説明会

# 白陵特訓

日能研関西

## ■ 白陵中学校概要

---

### ◆ アクセス ◆

学校法人三木学園

白陵中学校・高等学校

〒676-0827

兵庫県高砂市阿弥陀町阿弥陀 2260

○JR 曾根駅から徒歩約 15 分



### ◆ 教育方針 ◆

#### <校訓校是>

---

規律ある生活を送る中で高い教養を身につけさせ、国際社会のリーダーを育成する。  
「教養と節度」を基本として、生徒の可能性を信じ、生徒の自己実現をサポートする。

#### ・ 研究と訓練

自分で調べ、考え、探求する力と何度も繰り返すことにより基礎的な力をつけさせる

#### ・ 独立不羈（どくりつふき）

周囲に流されず、自分の信念・責任感を持って自主自立する力をつけさせる

#### ・ 正明闊達（せいめいかつたつ）

こだわりを持たず、明るく正しく、元気に生き活きとした人間を追求する

#### <教育の方針>

---

1. 少数定員制により指導の徹底を期する。
2. 1日の授業時間は1時限60分6回(月曜日を除く)とし、学習効果の向上をはかる。
3. 国語・数学・外国語に重点をおく。 ※ 体育には柔道を必修として取り入れる。
4. 中学・高校6か年の一貫した教育により、高度な知識の習得と学力の充実につとめる。
5. 寄宿舎を持つ学校として、全人教育推進を期したいと考えている。
6. 日常生活における「躰」を重視し、責任を自覚して、節度ある行動をとるように指導する。
7. 健康の増進と安全な生活を心がけるようにする。

## ■ 白陵中学校 生徒募集要項（2025年度）

	前期			後期		
募集人員	175名(男・女)			若干名(男・女)		
試験科目	国語	算数	理科	国語	算数	面接 20点
試験時間 配点	70分 120点	70分 120点	70分 100点	60分 100点	60分 100点	
出願方法 出願期間	Web出願 令和6年12月21日(土)～ 令和7年1月9日(木)			Web出願 前期と同じ期間と、 令和7年1月19日(日)～ 令和7年1月20日(月)		
試験期日	令和7年1月18日(土)			令和7年1月21日(火)		
合格発表	令和7年1月19日(日)HP			令和7年1月22日(水)HP		
出願費	受験料 20,000円			受験料 20,000円		
入学金	150,000円			150,000円		

## ■ 白陵中学校 中学入試データ

前期

年度	平均点			合格 最低点	募集人員	志願者数	合格者数	競争率
	国語	算数	理科					
R6	68.9	68.0	66.5	200	175	365	204	2.1
R5	65.2	55.6	60.3	181	175	406	202	2.3
R4	68.1	66.6	59.1	192	175	364	200	2.1

※倍率は小数点第2位を四捨五入

後期

年度	平均点			合格 最低点	募集人員	志願者数	合格者数	競争率
	国語	算数	面接					
R6	51.3	43.2	19.9	132	若干名	178	37	4.8
R5	50.6	34.3	19.6	117	若干名	164	30	5.5
R4	47.7	32.7	19.4	112	若干名	152	31	4.9

※倍率は小数点第2位を四捨五入

	2022年度	2023年度	2024年度	分析と対策
国語	<p>①語句 〔同音異義語、敬語表現、ことわざ、慣用句、旧暦と節気〕</p> <p>②論説文 〔漢字の書き、選択肢、具体化の記述、空欄補充、内容の把握〕</p> <p>③物語文 〔慣用句、選択肢、心情の記述、理由の記述、具体化の記述、暗示的な内容の記述〕</p>	<p>①語句 〔四字熟語、慣用句、俳句の季節、言葉の意味、主語と述語、具体化の記述〕</p> <p>②論説文 〔漢字の書き取り、具体化の記述、選択肢、要旨の記述、内容の把握〕</p> <p>③物語文 〔漢字の書き取り、空欄補充、理由の記述、具体化の記述、選択肢、心情の記述〕</p>	<p>①語句 〔四字熟語、慣用句、熟語の組み立て、ことわざ、敬語、慣用表現、論理展開〕</p> <p>②論説文 〔漢字の書き取り、空欄補充、選択肢、具体例、抜き出し、理由の記述、具体化の記述〕</p> <p>③物語文 〔漢字の書き取り、空欄補充、心情の記述、具体化の記述、理由の記述、選択肢、抜き出し、内容理解〕</p>	<p>昨年度に引き続き、語句の独立問題、説明的文章と物語文の計3題構成での出題であった。語句の出題は基本的な知識内容を問うものが中心で幅広い知識が要求されている。文章題については、記述重視の傾向に変化はななく、しっかりと根拠を見つけて出して解答の大筋をつかんだうえで取り組むことが要求される。文章の内容をしっかりと読む力が養成が求められるに合わせ、一つの問題にこだわりの指示に合わせ、一つの問題にこだわりの書き取りや語句、文章の空欄補充など、早く取り組んで得点に結び付けておきたい。</p>
算数	<p>①計算2、逆算1、仕事算1、四捨五入1</p> <p>②角度1、面積3</p> <p>③速さ(図形上の点の移動)</p> <p>④数の性質(倍数の分布)</p> <p>⑤立体図形(水位)</p> <p>⑥立体図形(切断、展開図)</p>	<p>①計算2、逆算1、数の性質1、割合1</p> <p>②体積1、角度2、相似比1、面積2</p> <p>③場合の数(とりに移動する点)</p> <p>④割合(濃度)</p> <p>⑤速さ(旅人算)</p> <p>⑥立体図形(立体の表面および内部を移動する点の軌跡)</p>	<p>①計算1、逆算2、速さ2</p> <p>②角度1、面積2、面積比1</p> <p>③場合の数(マス目の移動)</p> <p>④立体図形(水位)</p> <p>⑤規則性(ままこだて)</p> <p>⑥立体図形(切断と表面積)</p>	<p>①が計算・一行題、②が一行題、③以降が大問で、解答用紙は前半が答えのみで、後半が式、考え方を書くようになっていく。速さ、立体図形、数の性質、文章題からの出題が多い。問題は、ミスなく得点することが大切であり、部分点を得ることが大切である。作図をしたり、表を整理したりするなど、解法を探る作業を答案に残すことが重要で、このような練習を日常的にやっておくことが大切である。</p>
理科	<p>①種子の発芽と栄養分</p> <p>②石灰水と重曹の反応</p> <p>③コウモリ時計</p> <p>④合わせ鏡の反射</p>	<p>①血液循環と心臓</p> <p>②月の見え方</p> <p>③水素と酸素の反応</p> <p>④てこの重心</p>	<p>①ウキウキサの数の変化</p> <p>②地震波の伝わり方・緊急地震速報</p> <p>③浮力</p> <p>④ミョウバン(水和物)の溶解度</p>	<p>物理1・化学1・生物1・地学1の計4題。例年と同じ傾向で、どの問題も長い問題文や図、グラフなどから規則性を読み取らなければならぬ。内容も計算、記述、作図とバラエティに富んでいる。知識だけで答えられない。知識だけでは太刀打ちできない。問題の読解力に加え、自分で実験結果をまとめるなど、とにかく手を動かして、規則性を見つけて作業を行うことが求められる。じっくりと問題に取り組み、力をこめて、後回しにするか、取捨選択する目を養いたい。</p>

		2022年度	2023年度	2024年度	分析と対策
白 陵 中 後 期	国 語	①物語文 [漢字の書き取り、理由の記述、選択肢、心情の記述、人物把握、表現技法] ②論説文 [具体化の記述、自由記述]	①物語文 [漢字の書き取り、心情の記述、選択肢、具体化の記述、内容把握] ②論説文 [理由の記述、自由記述]	①物語文 [漢字の書き取り、慣用句、言葉の意味、具体化の記述、理由の記述、抜き出し、心情の記述、選択肢、内容理解] ②論説文 [対照的内容の記述、自由記述]	今年度も昨年度と同様、前期と同じ形式の文章題と、文章を読んだうえで要旨を読み取る問題、自分の考えを記述する問題のみを取り上げた文章題という大問2題構成での出題となった。 前期と同じ形式で出題された大問は、記述を中心に漢字・選択肢を散りばめたもので、前期に比べて様々な読み取りが要求された分、難度の高い出題であった。 もう一方の大問は、いかに要旨を読み取れるかが、ポイントとなって自分の考えを記述できるか、ポイントとなって自分の考えを記述できるか、読み取りと自分の考えを記述する時間確保について時間配分を意識して取り組むべきだろう。
	算 数	①平面図形(面積)、立体図形(密度の利用) ②場合の数(順列) ③速さ(坂道を進むときの標高の変化) ④規則性(マス目と石の動かし方) ⑤場合の数(ゾロツクを箱に詰める方法)	①計算、規則性、数の性質 ②平面図形の求積、進行グラフと比、作図 ③平面図形(内接円の半径とグラフ) ④文章題(仕事算と規則性) ⑤場合の数(立方体の積み重ね)	①計算、平面図形(相似) ②平面図形(図形上の点の移動) ③場合の数(得点計算) ④割合(濃度) ⑤立体図形(球の切断)	大問5題の出題形式は例年通りで、解答用紙はなく、問題用紙の余白に直接記入する形式になっている。式・考え方を書く余白は十分にあるので、きちんと書く必要がある。出題比較している問題と難問が入り混じっており、選んで予キバキと時間をかけて取り組みたい。思考じっくりと時間をかけて取り組みたい。解いたあとの作業力などを要求される、過去にないような新しい問題が出題されること、このような新傾向の問題に対して、作業を通じ、規則や構造を導き出す力を養っておかなくてはならない。

## ■ 特訓概要（今年度版）

### ◆ 開催校 ◆

明石校

### ◆ 受講基準 ◆

「公開模試」の3科目平均偏差が47以上

または、「思考力育成テスト」の3科目平均順位が250位以内

### ◆ 指導教科 ◆

前期特訓…算数は毎週実施、国語と理科は隔週実施

(例) 1週目：算数・国語      2週目：算数・理科

後期特訓…国語・算数・理科は毎週実施

### ◆ 一週間のモデルスケジュール ◆

火曜日	木曜日	土曜日	日曜日
国語	理科	算数 社会	学習力育成テスト※・公開模試 白陵特訓

※ 前期は学習力育成テスト、後期は合格力育成（実践）テスト

(本科クラス) 国語 150分・算数 200分・理科 150分・社会 100分

(本科発展クラス) 国語 200分・算数 250分・理科 150分・社会 100分

### ◆ 授業時間 ◆

※ 4科受験の場合は、「9:00」から開始

- 前期 -		- 後期 -	
09:40～12:20	学習力育成テスト 公開模試	09:45～12:25	合格力育成テスト・合格力実践テスト 公開模試
12:20～12:45	食事休憩	12:25～12:45	食事休憩
12:45～14:25	授業① (100分)	12:45～14:25	授業① (100分)
14:35～16:15	授業② (100分)	14:35～16:15	授業② (100分)
		16:25～18:05	授業③ (100分)

※ 学習力育成テストや公開模試等のテストは特訓開催校で受験します。

※ 次年度の特訓時間割は変更になる場合があります。

### ◆ 特訓保護者会 ◆

年2回実施（第1回は4月ごろ、第2回は10月ごろに実施）

第1回保護者会…特訓担当者紹介、特訓指導方針、前期指導内容など。

第2回保護者会…後期指導内容、入試説明、併願校の紹介など。

◆ 特訓カリキュラム ◆

	回数	国語	算数	理科
前期 (2月～7月)	1	① 指示語 (論説文)	① 演習プリント 1	
	2		② 演習プリント 2	① 種子の発芽、水溶液
	3	② 具体化 1 (論説文)	③ 演習プリント 3	
	4		④ 演習プリント 4	② 地層岩石、てことばね
	5	③ 具体化 2 (物語文)	⑤ 演習プリント 5	
	6		⑥ 演習プリント 6	③ 花のつくり、気体の発生
	7	④ 心情・細部表現 (物語文)	⑦ 演習プリント 7	
	8		⑧ 数論 1	④ 太陽の動き、熱の伝わり方
	9	⑤ 理由 1 (論説文)	⑨ 立体図形 1	
	10		⑩ 立体図形 2	⑤ 昆虫、ものの燃え方
	11	⑥ 理由 2 (物語文)	⑪ 文章題	
	12		⑫ 平面図形 1	⑥ 星と星座、音
	13	⑦ 体験と感想 (随筆文)	⑬ 平面図形 2	
	14		⑭ 平面図形 3	⑦ 消化、気象、水溶液
	15	⑧ 対照的内容 (論説文)	⑮ 平面図形 4	
	16		⑯ 平面図形 5	⑧ 動物、月の動き、光の反射
	17	⑨ 要旨 (論説文)	⑰ 平面図形 6	
	18		⑱ 速さ 1	⑨ 天体、気体の発生量、てこ
	19	⑩ 主題 (物語文)	⑲ 速さ 2	
	20		⑳ 速さ 3	⑩ 血液循環、電流、中和
夏期	1	① 入試問題演習		① 入試問題演習
	2	② 入試問題演習	① 入試問題演習	
	3	③ 入試問題演習		② 入試問題演習
	4	④ 入試問題演習	② 入試問題演習	
	5	⑤ 入試問題演習		③ 入試問題演習
	6	⑥ 入試問題演習	③ 入試問題演習	
後期 (9月～1月)	1	① 単元別 (具体化 1)	① 入試問題演習	① 最難関問題演習：生物
	2	② 単元別 (具体化 2)	② 入試問題演習	② 入試問題演習
	3	③ 入試問題演習	③ 入試問題演習	③ 入試問題演習
	4	④ 単元別 (理由 1)	④ 入試問題演習	④ 入試問題演習
	5	⑤ 単元別 (理由 2)	⑤ 入試問題演習	⑤ 最難関問題演習：地学
	6	⑥ 入試問題演習	⑥ 入試問題演習	⑥ 入試問題演習
	7	⑦ 単元別 (心情 1)	⑦ 入試問題演習	⑦ 入試問題演習
	8	⑧ 単元別 (心情 2)	⑧ 入試問題演習	⑧ 入試問題演習
	9	⑨ 入試問題演習	⑨ 入試問題演習	⑨ 最難関問題演習：化学
	10	⑩ 単元別 (主題)	⑩ 入試問題演習	⑩ 入試問題演習
	11	⑪ 単元別 (要旨)	⑪ 入試問題演習	⑪ 入試問題演習
	12	⑫ 入試問題演習	⑫ 入試問題演習	⑫ 入試問題演習
	13	⑬ 入試問題演習	⑬ 入試問題演習	⑬ 最難関問題演習：物理
	14	⑭ 入試問題演習	⑭ 入試問題演習	⑭ 入試問題演習
	15	⑮ 入試問題演習	⑮ 入試問題演習	⑮ 入試問題演習
	16	⑯ 入試問題演習	⑯ 入試問題演習	⑯ 入試問題演習

## ■ 国語の指導内容

---

### ◆ 入試の出題傾向 ◆

白陵中学の国語の入試問題は、2017年度までは、長文2題構成の100点（60分）でしたが、2018年度入試から、語句独立問題を加えて、大問3題構成の120点（70分）に変更となります。テスト時間は問題の質や量を考えると時間的には妥当ですが、大問1の語句問題で時間を取られてしまうと厳しくなります。大問2以降は字数指定のない記述問題が多く出題されることが大きな特徴となっています。また、「～説明しなさい。」といった形式の物も多く、しっかり読み取り、しっかり自分の言葉で文章化しなければならないので、早めの対策が必要です。

また、記述問題に関しては「短い解答となっているものに対しても、文が完結していれば採点を行う」という方針で行っているため、まずは答えを書いてみるという意識をもって取り組むことが望ましいと言えます。

### ◆ 前期特訓の内容 ◆

6年生本科教室での使用教材「語句のまとめ」で知識分野の定着を図るとともに、白陵特訓では、記述対策を中心とした授業を入試まで徹底的に繰り返し、記述に対する自信をつけてもらえるよう進めていきます。

本科授業では、記述を嫌がらず書く努力を続けていくことと漢字や語句の練習を短文の中でしっかり意識して身につけていくことを心がけてください。

### ◆ 後期特訓の内容 ◆

単元別の授業回を作り、改めて問題の解き方を再度意識する時間を設けつつ、入試問題演習で過去問に取り組みます。入試問題演習では時間配分・部分点の意識・問題傾向の習熟など、白陵中学の入試問題に慣れていき、得点力の向上を目指します。

出題傾向で触れている通り、記述問題は出題数も多く、書くべき分量もそれぞれ50字～100字程度必要となるので、時間の許す限り自分の考えた内容を答案用紙に書いていくという姿勢が大切になります。基本となる解き方を意識すれば部分点が期待できる問題も多くなるため、単元別の授業の回も含め、記述問題への対応力を養うことを重んじて進めていきます。担当者が答案を添削して採点する形式を取り、部分点への意識も身につけていきます。

## ■ 算数の指導内容

### ◆ 入試の出題傾向 ◆

白陵中学の算数は、2017年度までは、一次；40点（40分）、二次60点（50分・午後に実施）でしたが、2018年度入試から一本化されて、100点（70分）に、2023年度からは算数も120点（70分）となりました。2017年度までの傾向は下記ようになります。

（一次）計算力重視・解答のみ

以前は、基本的な問題で、白陵を受験する生徒の場合は、40点中、30点以上の得点を取ってきていましたが、ここ3年間を見ると、難度が上がり、ある程度の実力がないと30点以上の得点は難しくなりました。前半部分の基本的な問題でのミスがあると合否に大きく影響してくるので簡単な問題を落とさないように普段のテスト・授業・家庭学習から意識して勉強していく姿勢が必要です。

（二次）式や考え方、作図を要する問題。

例年は4題の出題。まれに、5題の時もあります。図形の作図・調べ上げる問題がよく出題されます。少し難度が高く取れる問題を確実に粘り強く解くことが必要です。もちろん式や考え方、時には理由を書かせるといったものが出されるので、しっかりと書ける練習が必要です。

2018年度、2019年度の入試では、①計算力や基礎学力を問う基本的な問題（30～40点、答のみ）と②発想力や思考力を試す応用問題（60～70点、記述型）が出題されました。まさしく、今までの1次の問題数を少し減らし、それに2次の問題をくっつける形の出題形式でした。今後の入試においても、白陵の過去問を中心として練習して行けば問題ありません。来年の6年生も、前期中は、過去問を解いていく前段階として、各単元のベースを押さえる授業を行っていきます。

### ◆ 前期特訓の内容 ◆

本科授業で、しっかりと式や考え方、線分図などを書く努力を心がけてください。また、大切なことは、間違い直しを「分かったつもり」ではなく、しっかりと自分の力にしていく努力をすることです。計算練習も時間を決めて取り組み、つまらないミスが出ないようにしていきましょう。来年度も、前期は、単元別の総合問題、後期は過去問演習の形は変わりません。

### ◆ 後期特訓の内容 ◆

後期は、過去問演習を行います。毎週、授業で入試問題演習をしていきます。入試傾向にも書きましたが、白陵は他の学校と傾向が、全く違ってきます。その問題傾向に慣れていく練習をして行かないと、合格点は取れません。そのため、部分点の取り方考え方をきちんと書く事ができるように、毎週、入試問題の解答用紙を回収し1週間かけて添削して翌週に返却させていただいています。その結果が、日能研偏差に届いていない生徒も多数合格させている結果につながっていると思っています。

## ■ 理科の指導内容

### ◆ 入試の出題傾向 ◆

白陵中学の理科は、生物・地学・化学・物理の四分野を各一題の出題で、ほぼ均等配点となっています。これまでは3科均等に100点満点の配点でしたが、2023年度より、国語・算数が120点となり、傾斜配点となっています。それでも、理科も100点の配点があるため、理科の学力が合否に大きく影響してきます。時間は70分で、他のどの学校よりも多くなっています。じっくりと問題文を読み取って臨んでほしい、というメッセージが伝わってきます。問題の読解力が無いと太刀打ちできない問題も増えてきました。

生物では、知識問題も多く出題されますが、実験や観察に関する処理を問う物もかなり出され、日常生活の中でも知識事項を確認する気持ちを保持しつつ、問題に慣れておくことが必要です。計算問題も出題されますので、暗記単元といって油断しないようにしましょう。地学分野は、原理の理解を必要とされるものが多く、記憶に頼る学習ではなかなか太刀打ちできない物が多く出されます。化学分野と物理分野は難易度が高く、表やグラフをしっかりと処理し、それを元に、しっかりと計算し解答を導き出すとともに、グラフに表すことができるかどうか大きなポイントとなります。また、いかに簡単な小問を取りこぼさないかが重要でもあります。

全単元に共通することとしては、理由の記述など文章で書かせる問題も多いことが特徴と言えますから、普段からしっかりと「なぜ」を意識して学習していきましょう。

### ◆ 前期特訓の内容 ◆

本科授業では、覚えることを確実に覚えていくことと、どうしてこうなるのかといった理由や原理をしっかりと聞き、身につけていく努力をしていきましょう。ただ、前期中にすべて身につけることは無理があります。夏期講習・後期特訓において何度も繰り返し身につけていけるよう、カリキュラムが組まれていますから、焦らず、その都度一歩ずつ前進していきましょう。

### ◆ 後期特訓の内容 ◆

後期は主に白陵中学の過去問演習を行います。理科の問題はいわゆる「基本知識の確認」の問題は少なく、長い実験文や表の読み取りを行った上で解く、という問題が多くなっています。白陵中学は問題の答えよりも、問題文の条件をしっかりと読み取り、どのように答えに至ったかという過程を重視するため、理科の計算問題であっても部分点をもらえる可能性があります。そのため、毎週答案を回収して添削し、正確に点数をつけるようにしています。難問が多いですが、まちがい直しなどで努力を続けていけば、合格点である60点前後に届きます。計算・記述・作図と、様々な内容の問題を出題するため、とにかく「問題文を読み取る」「計算ミスをしなない」「手を動かして何か書く」ことを徹底させていきます。また、「最難関問題演習」として類題に取り組み、実践的な力を養う回を設けています。